

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	小坂町における流域一体となった下水道未普及解消の推進（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小坂町												
計画の目標	下水道未普及地区の整備を行い、安心、安全、快適な暮らしを実現し、良好な水環境を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	458	A	458	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	R2末	R4末
1	・下水道処理人口普及率を63.5%（H30当初）から66.4%（R4末）に増加させる。 下水道処理人口普及率 【下水道を利用できる人口（人）/総人口（人）】	63%	65%	66%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小坂町	直接	小坂町	管渠(汚水)	新設	実施設計(万谷、荒川地区)	管路実施設計 L=4,900m	小坂町						48		策定済
	A07-002	下水道	一般	小坂町	直接	小坂町	管渠(汚水)	新設	上川原、万谷、荒川地区 管渠整備	污水管 150 L=4,920m	小坂町						410		策定済
												小計						458	
											合計						458		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 小坂町事務事業評価により実施	事後評価の実施時期 令和5年12月
	公表の方法 小坂町のホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	普及率の目標を達成し、汚水管渠の整備により予定していたすべての区域の供用開始を行った。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	下水道接続工事において、小坂町新リフォーム補助金の活用により接続率の向上と経済効果が発現した。
特記事項（今後の方針等）	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道人口普及率	
	最終目標値	66%
	最終実績値	79%